

2006. 12. 9

北海道・東北市民オンブズマンネットワーク仙台例会（第29回）

市民フォーラム

検証・監査委員の仕事

市民フォーラム次第

司会 河村直人

- | | |
|-------|--|
| 13:30 | 開会のあいさつ（大河内憲司代表） |
| 13:35 | 記念講演 前茅ヶ崎市代表監査委員 原 寿雄さん
ジャーナリスト |
| 14:35 | 調査結果についての報告（野呂圭事務局長） |
| 14:50 | 休憩 |
| 15:05 | パネルディスカッション
コーディネーター 庫山恆輔（仙台）
パネリスト
原 寿雄
大河内憲司（函館）
井上 博夫（岩手）
佐藤 欣哉（山形）
野呂 圭（仙台） |
| 16:30 | 会場からの質問・意見、パネリストの補足発言 |
| 16:50 | アピール採択（提案 三浦じゅん） |
| 16:55 | 閉会（河村直人） |

1、 茅ヶ崎市の監査例（監査委員はジャーナリスト、会計士、議員）

財務監査 定期監査 工事監査 決算審査 住民監査請求

月例では前月食糧費 1 万円以上のリストを作り支出内容を点検
行政監査◇補助金 旅費 行政財産の目的外使用－提言付き報告書提出

1995 年の補助金監査報告書の要点

対象 補助金交付規則に基づく 2 1 2 件 15 億 7532 万円

監査結果 問題点を 1 4 に分類して 303 点を指摘

- ①概算払いとすべきなのに事後払いとしながら未清算－71 件
- ②金額の算出根拠不明な定額補助金－106 件
- ③補助対象団体の事務局が補助交付主管課内にある－41 件
- ④補助金額を超える繰越金がある－22 件
- ⑤賄いの割合が著しく高い－11 件

その他、用途状況不明、事業の全額が補助金、営利企業に交付
提言 補助金の既得権化防止に 5 年で見直すサンセット方式や
補助団体業務と市業務の峻別など 5 項目

◇旅費 前渡金として支出など 264 件を検証

監査結果 復命書がないものなど 134 件を指摘、提言 3 項目

◇市の対応 いずれも監査結果を重視、10%削減など改革に着手

2、 自治体監査の問題点

- ① 監査が独立性を持ちにくい仕組み＝委員は首長の選任権、議会の同意チェックは弱い。
自治体OBが主役を演じやすい。人によるがベテラン議員も有識者も名誉職的色彩が強い。OBは処遇人事が多い。
事務局は首長人事、2－3年で行政職場に戻る。監査の地位は低い。
- ② 専門性の不足＝お飾りの存在だったから事務局にも専門家は養成されず。工事監査で日本技師会員など専門家に協力求めたのが例外。
- ③ 前例踏襲、慣行尊重の惰性＝監査もお役所の延長、昨日の続きを今日も守っていれば無難。行政内に住民監査請求を敵視する空気は根強い。

3、 改革の課題

- ①その気になれば何でもやれる監査委員の選び方が改革の焦点。議会選出も行政OBも不要の態勢をどうつくるか。地方自治法の改正。首長が内定後住民のパブリックコメントを求め、議会で厳しくチェックする。
- ② 事務局に専門家を採用または養成するか、随時専門化の助力を受ける。
- ③ 裏金などのチェックは伝票など文書だけでなく実地、実態検証が不可欠。
- ④ 権限の強い首長に対し地方議会は厳しい監視役でなければならない。
- ⑤ 情報公開の内容を充実、拡大させる。 了

原 寿雄（はら としお）

1925年神奈川県生まれ。東大法卒後社団法人共同通信社の社会部、バンコク支局長、外信部長、編集局長、専務理事・編集主幹を歴任後、事業部門の株式会社共同通信社社長。その後フリー・ジャーナリストとして活動しながら神奈川県公文書公開審査会長、茅ヶ崎市の代表監査委員、民間放送連盟の放送番組調査会会長、NHKと民放連で作る放送と青少年委員会委員長、朝日新聞の報道と人権委員会委員など、主にメディアや行政の監視役をつとめてきた。

著書は「日本の裁判」（三一書房）、「ジャーナリズムの思想」（岩波新書）、「それでも君は新聞記者になるか」（晩声社）、「市民社会とメディア」（編著 リベルタ出版）、「報道の自由と人権救済」（同 明石書店）、「メディア規制とテロ、戦争報道」（同 同）その他。

監査委員等に関する調査結果

2006. 12. 9

集計 仙台市民オンブズマン
(担当 庫山)

1. 監査委員に関する調査 (5頁～11頁)

(1) 各地のオンブズマンからの情報提供と監査事務局・議会事務局への問い合わせ等によって調査した。

(2) 調査対象

9 道県 (北海道と青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、新潟、栃木の各県)
11 市 (札幌、函館、青森、秋田、盛岡、山形、仙台、福島、いわき、新潟、宇都宮の各市)

(3) 識見、議選の別

①秋田市、盛岡市のみが議選1、識見3。他はすべて議選2、識見2の構成。

秋田市は、識見委員を増やした方がよいとの考えで、議員発議の条例改正(平成9年6月定例会)で1名となった。

盛岡市は、議員の兼職を減らすとの方針で、平成11年から1名とした。

②北海道、新潟県が常勤2名、他は全て常勤1名。

(4) 識見委員の経歴

①自治体OBがないのは、北海道、秋田県、宮城県、札幌市のみ。他は全て自治体OBが識見委員となっており、しかも常勤(代表監査委員)が多い。識見委員42人中自治体OBは16人。

②識見委員で自治体OB以外に多いのは、公認会計士(7)、弁護士(5)、税理士(3)、元銀行員(3)など

(5) 報酬

①識見委員(常勤)は、529,800円(青森市)～810,000円(北海道)

識見委員(非常勤)は、79,000円(新潟市)～400,000円(福島県)

②議選委員は、38,000円(福島市)～181,000円(新潟県)

(6) 任期

議選委員は2年交代が多い(例外的に1年)。

(7) 議選委員の選ばれ方

慣例的に議会の多数会派から選ばれることが多いようである。

2. 13年度以降の政務調査費の監査に関する調査 (12頁)

(1) 各地のオンブズマンの情報公開請求によって入手した文書やHPによって調査した。

(2) 別紙調査結果 (12頁) のように、政務調査費は、事実上、監査の対象外とされている。

3. 13年度以降各地のオンブズマンが行った住民監査請求の監査結果についての調査 (13頁～18頁)

(1) 各地のオンブズマンからの情報提供によりまとめた。

(2) 結果

	勧告	却下	棄却	計
北海道			3	3
青森県		1	1	2
岩手県	2 (県費捜査報償費、政務調査費については一部)	2	1	5
山形県		1	4	5
宮城県		7	4	11
福島県	1 (談合)		7	8
新潟県		1	1	2
栃木県			6	6
函館市	2 (政務調査費、産廃)		3	5
弘前市		6	1	7
盛岡市	1 (談合)		3	4
山形市			2	2
米沢市	1 (東北大医学部寄附金)			1
仙台市	2 (談合)	6	8	16
いわき市			6	6
新潟市		1		1
宇都宮市			2	2
計	9 (10.4%)	25 (29.1%)	52 (60.5%)	86

(3) 以上のように、勧告があったのは談合事案等9件(10.4%)にしか過ぎず、他はすべて却下か棄却であった。住民監査請求は、正しく住民訴訟への通過儀礼と化している。

1. 監査委員に関する調査結果(2006年11月)

No	自治体名	氏名	識見・議選の別	経歴	報酬(円)	任期	議選委員の選ばれ方など
1	北海道	高橋由紀雄	議選	道議(民主党・道民連合)	140,000	2年	臨時会(議会構成)における会長会議において、議員から選出する監査委員候補者の推薦について、理事者から要請を受け、2名の会派配分を決定。(自民1、民主1) 主1) から推薦者名簿を議長に提出、議長は推薦者名簿を知事に伝える。 自 事案件として提出され、同意決議。 由民主党は第1会派、民主党は第2会派。 自由民主党は第1会派。 知 事が直接選んでいる!(人事課担当者)
		加藤唯勝	議選	道議(自由民主党・道民会議)	140,000	2年	
		宮間利一	識見(常勤)	元株式会社札幌北洋カード 代表取締役社長	810,000 (18,19年度15%減額)	4年	
2	青森県	見野全	識見(常勤)	元白老町長(4期)	810,000 (18,19年度15%減額)	4年	自由民主党は第1会派。 知 事が直接選んでいる!(人事課担当者)
		小比類巻雅明	議選	県議(自由民主党)	101,000	2年	
		阿部広悦	議選	県議(自由民主党)	101,000	2年	
3	秋田県	林 忠男	識見(常勤)	元北方商事株式会社代表 取締役社長	661,000	4年	第1会派、第2会派から選ばれている。
		鶴賀茂世	識見	元県社協運営適正化委員 会事務局長、県職員OB(男 女共同参画課長)	178,000	4年	
		富樫博之	議選	県議(自由民主党)	110,000	2年	
4	岩手県	杉江宗祐	議選	県議(みらい21)	110,000	2年	慣例的に多数会派から選ばれ、任期は2年。岩手では 自由民主クラブ(自由民主党)、民主・県民会議(民主 党)が2大政党。
		大和顕治	識見(常勤)	会計検査院第3局長から民間 等を経て	670,000	4年	
		菊地康男	識見(常勤)	元秋田銀行員	670,000	4年	
5	山形県	川村農夫	議選	県議(民主・県民会議)	96,000	2年	議会からの推薦により、知事が議会の同意を得て選任 している。慣例的に第1会派、第2会派から選ばれてい
		平沼健	議選	県議(自由民主クラブ)	96,000	2年	
		菊地武利	識見(常勤)	岩手日報取締役論説委員	604,000	4年	
5	山形県	谷地信子	識見	県職員OB(岩手県生活福祉 社部県民生活課長)、花巻 市教育委員会教育長	227,000	4年	議会からの推薦により、知事が議会の同意を得て選任 している。慣例的に第1会派、第2会派から選ばれてい
		佐藤藤彌	議選	県議(自由民主党)	96,000	2年	
		田辺省二	議選	県議(山形21世紀の会)	96,000	2年	

6	宮城県	加藤淳二	識見(常勤)	県職員OB(元県病院事業局長)	586,000	4年	る。自由民主党は第1会派、山形21世紀の会は第2会派。 最大会派は指定席。もう1人は会派間の話し合いで。民主フォーラムは第3会派。
		濱田宗一	識見	弁護士	176,000	4年	
7	福島県	菊地浩	議選	県議(自由民主党・県民会議)	141,000	2年	第1会派、第2会派から選出。
		藤原範典	議選	県議(民主フォーラム)	141,000	2年	
		阿部徹	識見(常勤)	筑波大学名誉教授	685,000	4年	
		谷地森涼子	識見	仙台家裁調停委員	395,000	4年	
		青木稔	議選	県議(自由民主党福島県議会議員会)	137,000	2年	
8	新潟県	渡部勝博	議選	県議(福島県議会県民連合)	137,000	2年	議選は第1会派、第2会派から1名ずつ選出。
		音高純夫	識見(常勤)	県職員OB(元出納局長)	663,000	4年	
		高野宏之	識見	公認会計士	400,000	4年	
		小野忍	議選	県議(自民党)	181,000	1年	
		塚野弘	議選	県議(社民党)	181,000	1年	
9	栃木県	竹田武英	識見(常勤)	前新潟潟日報事業社長	683,050	4年	慣例的に議会の推薦で1年交代。 自由民主党議員会は第1会派。
		木下恵夫	識見(常勤)	県職員OB(元県土木部長)	637,450	4年	
		石坂真一	議選	県議(自由民主党議員会)	121,000	1年	
		野田尚吾	議選	県議(自由民主党議員会)	121,000	1年	
		黒本敏夫	識見	公認会計士	201,000	4年	
10	札幌市	佐藤誠	識見(常勤)	県職員OB	599,000	4年	議員選出委員については慣例的に多数会派の第1党及び第3党から選ばれ、通常2年交代。
		宮村素子	議選	市議(自由民主党)	70,000	2年	
		義卜雄一	議選	市議(公明党)	70,000	2年	
		谷本雄司	識見(常勤)	公認会計士	800,000	4年	
		橋本昭夫	識見	弁護士	301,000	4年	
11	函館市	浜野幸子	議選	市議	48,000	2年	市長から議長に対し委員候補者を推薦依頼し、議会内で人選後、議長から推薦通知を受け選出。
		能登谷公	議選	市議	48,000	2年	
		村上英彦	識見(常勤)	市職員OB(前総務部長)	680,000	4年	
		佐藤憲一	識見	弁護士	147,000	4年	

12	青森市	工藤徳信 花田明仁 永井勇司 熊谷文夫	議選 議選 識見(常勤) 識見	市議(自由民主党) 市議(新自民) 市職員OB(下水道部長) 元銀行員	53,700 53,700 529,200 181,100	2年 2年 4年 4年	自由民主党は第1会派、新自民は第2会派。
13	秋田市	塚田勇 菊谷明 高井宏司 三浦清	議選 識見(常勤) 識見 識見	市議(フォーラム21) 市職員OB(元市議会事務局長) 公認会計士 弁護士	56,000 594,000 224,000 224,000	2年 4年 4年 4年	フォーラム21は第3会派。 識見委員を増やした方がよいとのかえで、議員発議の 条例改正によって1名になった(平成9年6月定例会)。
14	盛岡市	刈屋秀俊 八重樫康雄 下館幸男 川村幸子	議選 識見(常勤) 識見 識見	市議 市職員OB 元銀行員 税理士	62,400 540,000 123,600 123,600	4年 4年 4年 4年	議選委員は第2会派から選出。 平成11年から、議員の兼職を減らす方針の下に、議 選委員を1名とした。
15	山形市	長瀬洋男 高橋啓介 山口正志 佐藤登美子 佐々木両道 加藤栄一	議選 議選 識見(常勤) 識見 議選 議選	市議 市議 市職員OB(元市議会事務局長) 税理士 市議(改革ネット仙台) 市議(改革ネット仙台)	54,000 54,000 562,500 252,000 81,000 81,000	2年 2年 4年 4年 2年 2年	議選委員は第1会派、第2会派から選出。 長瀬洋男(第1会派)、高橋啓介(第2会派)。 改革ネット仙台は第1会派。 通 例、当選回数や会派バランス等を勘案して与党会派か ら選ばれているようである。
16	仙台市	加藤建次 福島学 斎藤清 加藤勝一	識見(常勤) 識見 議選 議選	市職員OB(元仙台市総務局長) 公認会計士 市議(真政会) 市議(公明党)	694,000 298,000 38,000 38,000	4年 4年 2年 2年	会派間の話し合いで選出。
17	福島市	菅野昭義 今井明 大間守光	識見(常勤) 識見 議選	市職員OB(元市議会事務局長) 公認会計士 市議(新風みらい)	674,500 134,300 68,000	4年 4年 2年	清和会は第2会派、新風みらいは第3会派。

19	新潟市	磯上佐太彦	議選	市議(清和会)	68,000	2年	
		駒木根登志男	識見(常勤)	市職員OB(元市立病院部長)	667,000	4年	
20	宇都宮市	今野隆	識見	税理士	139,000	4年	市民クラブは第2会派、共産党は第3会派。
		渋谷明治	議選	市議(共産党)	47,000	2年	
		横山山人	議選	市議(市民クラブ)	47,000	2年	
		小原克己	識見(常勤)	市職員OB(元新潟市総務局長)	778,000	4年	
		山崎隆夫	識見	弁護士	79,000	4年	
		小林睦男	議選	市議(民主市民連合議員会)	57,500	1年	
		金子和義	議選	市議(政志会)	57,500	1年	
須田章市	識見(常勤)	市職員OB(元教育委員会参事)	636,500	4年			
		川村壽文	識見	公認会計士	139,000	4年	政志会は第1会派、民主市民連合議員会は第2会派。

識見委員の前歴・職業

No	自治体	氏名	識見・議選の別	経歴
1	青森県	鶴賀茂世	識見	元県社協運営適正化委員会事務局長、県職員OB(男女共同参画課長)
2	岩手県	谷地信子	識見	県職員OB(岩手県生活福祉部県民生活課長)、花巻市教育委員会教育長
3	山形県	加藤淳二	識見(常勤)	県職員OB(元県病院事業局長)
4	福島県	音高純夫	識見(常勤)	県職員OB(元出納局長)
5	新潟県	木下恵夫	識見(常勤)	県職員OB(元県土木部長)
6	栃木県	佐藤誠	識見(常勤)	県職員OB
7	盛岡市	八重樫康雄	識見(常勤)	市職員OB
8	函館市	村上英彦	識見(常勤)	市職員OB(前総務部長)
9	青森市	永井勇司	識見(常勤)	市職員OB(下水道部長)
10	秋田市	菊谷明	識見(常勤)	市職員OB(元市議会事務局長)
11	山形市	山口正志	識見(常勤)	市職員OB(元市議会事務局長)
12	仙台市	加藤建次	識見(常勤)	市職員OB(元仙台市総務局長)
13	福島市	菅野昭義	識見(常勤)	市職員OB(元市議会事務局長)
14	いわき市	駒木根登志男	識見(常勤)	市職員OB(元市立病院部長)
15	新潟市	小原克己	識見(常勤)	市職員OB(元新潟市総務局長)
16	宇都宮市	須田章市	識見(常勤)	市職員OB(元教育委員会参事)
17	福島県	高野宏之	識見	公認会計士
18	栃木県	黒本敏夫	識見	公認会計士
19	札幌市	谷本雄司	識見(常勤)	公認会計士
20	秋田市	高井宏司	識見	公認会計士
21	仙台市	福島学	識見	公認会計士
22	福島市	今井明	識見	公認会計士
23	宇都宮市	川村壽文	識見	公認会計士
24	山形県	濱田宗一	識見	弁護士
25	札幌市	橋本昭夫	識見	弁護士
26	函館市	佐藤憲一	識見	弁護士

27	秋田市	三浦清	識見	弁護士
28	新潟市	山崎隆夫	識見	弁護士
29	盛岡市	川村幸子	識見	税理士
30	山形市	佐藤登美子	識見	税理士
31	いわき市	今野隆	識見	税理士
32	秋田県	菊地康男	識見(常勤)	元秋田銀行員
33	青森市	熊谷文夫	識見	元銀行員
34	盛岡市	下館幸男	識見	元銀行員
35	北海道	宮間利一	識見(常勤)	元株式会社札幌北洋カード 代表取締役社長
36	北海道	見野全	識見(常勤)	元白老町長(4期)
37	青森県	林 忠男	識見(常勤)	元北方商事株式会社代表取締役社長
38	秋田県	大和顕治	識見(常勤)	会計検査院第3局長から民間等を経て
39	岩手県	菊地武利	識見(常勤)	岩手日報取締役論説委員
40	宮城県	谷地森涼子	識見	仙台家裁調停委員
41	宮城県	阿部徹	識見(常勤)	筑波大学名誉教授
42	新潟県	竹田武英	識見(常勤)	前新潟日報事業社長

監査委員の報酬額

No	自治体	識見(常勤)	自治体	識見(非常勤)	自治体	議選
		報酬額		報酬額		報酬額
1	北海道	810,000	福島県	400,000	新潟県	181,000
2	北海道	810,000	宮城県	395,000	新潟県	181,000
3	札幌市	800,000	札幌市	301,000	宮城県	141,000
4	新潟市	778,000	仙台市	298,000	宮城県	141,000
5	仙台市	694,000	山形市	252,000	北海道	140,000
6	宮城県	685,000	岩手県	227,000	北海道	140,000
7	新潟県	683,050	秋田市	224,000	福島県	137,000
8	函館市	680,000	秋田市	224,000	福島県	137,000
9	福島市	674,500	栃木県	201,000	栃木県	121,000
10	秋田県	670,000	青森市	181,100	栃木県	121,000
11	秋田県	670,000	青森県	178,000	秋田県	110,000
12	いわき市	667,000	山形県	176,000	秋田県	110,000
13	福島県	663,000	函館市	147,000	青森県	101,000
14	青森県	661,000	いわき市	139,000	青森県	101,000
15	新潟県	637,450	宇都宮市	139,000	岩手県	96,000
16	宇都宮市	636,500	福島市	134,300	岩手県	96,000
17	岩手県	604,000	盛岡市	123,600	山形県	96,000
18	栃木県	599,000	盛岡市	123,600	山形県	96,000
19	秋田市	594,000	新潟市	79,000	仙台市	81,000
20	山形県	586,000			仙台市	81,000
21	山形市	562,500			札幌市	70,000
22	盛岡市	540,000			札幌市	70,000
23	青森市	529,200			いわき市	68,000
24					いわき市	68,000
25					盛岡市	62,400
26					宇都宮市	57,500
27					宇都宮市	57,500
28					秋田市	56,000
29					山形市	54,000
30					山形市	54,000
31					青森市	53,700
32					青森市	53,700
33					函館市	48,000
34					函館市	48,000
35					新潟市	47,000
36					新潟市	47,000
37					福島市	38,000

2. 政務調査費の監査に関する調査結果

1. 平成13年度以降の政務調査費についての定期（定例）監査（地方自治法第199条第4項）

1	北海道	13～17年度分について議会事務局を対象に定期監査。指摘事項なし。
2	青森県	13～17年度分について議会事務局を対象に定例監査。指摘事項なし。
3	秋田県	14、15、17年度を対象に決算審査（定期監査）。若干の質疑があるのみ。
4	岩手県	15～17年度分についてHPで見たところ、定期監査で議会事務局についての指摘事項なし。
5	山形県	13～17年度分について、議会事務局を対象に定期監査。指摘事項なし。
6	宮城県	13～17年度分について、議会事務局を対象に定期監査。若干の質疑あるのみで指摘事項なし。
7	福島県	14～17年度分についてHPで見たところ、定期監査で議会事務局についての指摘事項なし。
8	新潟県	13～17年度分について議会を対象に定例監査。指摘事項なし。
9	栃木県	13～17年度分について議会事務局を対象に定期監査。指摘事項なし。
10	札幌市	16年度分についてHPで見たところ、定期監査で議会事務局についての指摘事項なし。
11	函館市	16年度分についてHPで見たところ、定期監査で議会事務局についての指摘事項なし。
12	秋田市	13年度～16年度分についてHPで見たところ、定期監査で議会事務局については、備品管理等の指摘があるのみで、政務調査費についての指摘はない。
13	仙台市	15年度（4～9月）、18年度（4～8月）について、議会事務局を対象に定例監査。指摘事項なし。
14	山形市	17年度分について議会事務局を対象に定例監査。指摘事項なし。
15	新潟市	14、16年度について議会事務局を対象に定期監査。若干の質疑あるのみで指摘事項なし。
16	いわき市	13、14、16、17年度分について議会事務局を対象に定期監査。指摘事項なし。
17	宇都宮市	17年度分についてHPで見たところ、定例監査で議会事務局についての指摘事項なし。

以上のように、定期（定例）監査は、議会事務局を対象に行われ、政務調査費についてはその一環として、収支の計算のチェック等が行われているに過ぎない。

2. 政務調査についての随時監査（地方自治法第199条第5項）は、北海道、東北6県、新潟県、栃木県の全てで一切行われていない。上記の市についても随時監査が行われた様子はない。
3. HPで見たところ、北海道、東北6県、新潟県、栃木県の全てで、財政援助団体等監査（地方自治法第199条第7項）においても、政務調査費の交付を受けている議会会派が対象とされた形跡はない。上記の市についても同様である。
4. 1～3から、政務調査費は、事実上、監査の対象外とされていると言って良い。

3. 住民監査請求の監査結果

N o	自治体名	請求年月日	請求内容	請求結果	理由	担当監査委員
1		13.06.19	水門工事の談合について	棄却		
2	北海道	15.12.12	旭川中央警察署の裏金問題について	棄却		
3		16.03.01	弟子屈警察署の裏金問題	棄却		
4	青森県	17.09.09	県警不正経理について	却下	偽名領収書の存在が明らかになってから1年以上経過している	林忠雄、鶴賀茂世、小比類巻雅明、阿部広悦
5		18.07.14	鋼鉄製橋梁談合問題	棄却	知事が損害賠償請求権の行使をしないことは財産管理を不当に怠ることとは認められない	
6		14.08.27	県議海外視察旅行旅費返還請求	却下	期間徒過	一戸克夫、谷地信子
7	岩手県	16.07.02	岩手県警察本部捜査一課県費捜査報償費返還請求	勧告	本件は食糧費に区分されるべきものであり、その支出も県費の執行上妥当なものとは言えない	吉田昭彦、田村正彦、一戸克夫、谷地信子
8		17.03.09	岩手県警察本部交通指導課県費捜査報償費返還請求	却下	期間徒過	吉田昭彦、田村正彦、一戸克夫、谷地信子
9		18.06.16	県議会政務調査費の違法・不当な支出による損害の補てんを求め	一部について勧告、その他棄却	スナックでの飲食等一部は違法・不当な支出にあたる。その他は理由がない。	菊池武利、谷地信子
10		18.07.14	橋梁談合による損害額の補てんを求め	棄却	県は損害回復のための対応を進めており、財産管理を不当に怠っているとはいえない	川村農夫、平沼健、菊池武利、谷地信子
11		13.09.03	新庄最上地区土木工事談合による損害補てんを求め	棄却	証拠が収集できていない状況では、知事が損害賠償請求権を行使をしていないことが違法だとは言えない	
12		14.03.20	県会議員の海外旅行費用の返還を求め	棄却		
13	山形県	14.12.10	県会議員の政務調査費の返還を求め	却下	請求対象の具体的な項目が特定されていない	
14		18.01.12	山形県発注の鉄骨製橋梁工事は談合の疑いが強く、その損害補てんを求め	棄却	談合を裏付ける証拠がない	
15		18.07.14	国土交通省発注の鉄骨製橋梁工事談合による損害の補てんを求め	棄却	国が談合業者に損害賠償請求する動きなので、県としては国の対応を待つべき	
16		13.06.29	航空写真測量談合による損害額の補てんを求め	却下	違法・不当についての個別的・具体的摘示なし	渡辺和喜、坂下康子 渡辺達夫、日向則子

17	宮城県	13.07.18	平成12年度犯罪報償費の返還を求める	却下	違法・不当についての個別的・具体的摘示なし	渡辺和喜、坂下康子 渡辺達夫、日向則子
18		13.11.19	唐桑町内治山工事談合による損害額の補てんを求める	棄却	談合が確認できなかった	渡辺和喜、坂下康子 渡辺達夫、日向則子
19		14.01.30	国有林野調査測量談合による損害額の補てんを求める	却下	違法・不当についての個別的・具体的摘示なし	渡辺和喜、坂下康子 渡辺達夫、日向則子
20		14.06.24	平成6、7年度県警総務課旅費カラ出張分の返還を求める	棄却	カラ出張を認めるに足る理由ない	渡辺和喜、坂下康子 渡辺達夫、日向則子
21		15.08.25	平成15年4月分政務調査費の違法・不当支出分の返還を求める	却下	違法・不当についての個別的・具体的摘示なし	阿部徹、日向則子
22		17.12.02	平成12年度鑑識課、鉄道警察隊、生活保安課の犯罪捜査報償費の返還を求める	却下	期間徒過	菊地 浩、藤原範典 阿部 徹、谷地森涼子
23		18.02.20	平成16年度政務調査費違法・不当支出分の返還を求める	棄却	返還された分以外について違法とは断定できない	阿部徹、谷地森涼子
24		18.05.18	7と同趣旨の請求(第2次)	却下	期間徒過	菊地 浩、藤原範典 阿部 徹、谷地森涼子
25		18.07.14	橋梁談合による損害額の補てんを求める	棄却	損害回復のための働きかけを行っており、「怠る事実」があるとはいえない	菊地 浩、藤原範典 阿部 徹、谷地森涼子
26		18.09.19	7と同趣旨の請求(第3次)	却下	期間徒過	菊地 浩、藤原範典 阿部 徹、谷地森涼子
27		13.12.13	不要である事が明らかかな3,000m滑走路延長のため、風況調査費用4,800万円の支出差止め請求	棄却		
28		14.09.17	うつくしま未来博に係って入場券の購入、配布があり、県に損害が発生した。(代金回収を怠る事実)	棄却		菅野喬之、渡部譲 有我健司、齋藤忠
29	福島県	14.11.08	航空写真測量業務の談合行為に対して県は損害賠償請求権を行使するように	県知事に勧告	県知事に対して早急に損害額の算定をして損害賠償権を行使するように勧告	
30		15.07.04	首都機能移転に係わる支出の違法性について	棄却		柳田一男、西丸武進、有 我健司、齋藤忠
31		17.05.27	平成12年度～16年度の警察官制服購入において、談合行為が行われたものとして、県は損害賠償の請求をするように	棄却		青木稔、渡部勝博、 高野宏之

32	18.03.23	平成17年度の警察官制服購入において、談合行為が行われたものとして、県は損害賠償の請求をするように	棄却		青木稔、渡部勝博、音高純夫、高野宏之
33	18.05.29	県警の反則切符の購入において、談合行為が行われたものとして、県は損害賠償の請求をするように	棄却		
34	18.07.18	国交省発注の平成14・15・16年度の橋梁工事において、県は課徴金対象の工事の損害賠償の請求をするように	棄却		
35	14.12.24	平成13年度政務調査費	却下	当該行為を個別、具体的に特定していないし、具体的理由が示されていない	
36	18.07.21	国発注の橋梁工事	棄却	一義的には国が契約者であり、直ちに県が損害賠償請求権を行使しないからといって不当に財産管理を怠っているとは言えない。但し、付記として県の損害発生は推認できるので国の動向を注視のうえ必要な対応をとることを要請	
37	13.12.13	足利銀行250億円の増資にかかる3億円引き受け差止め請求事件	棄却		菅沼清、高橋文吉、星野基、齊藤宏
38	14.06.18	首都機能誘致のための支出差止め請求事件	棄却		星野基、齊藤宏
39	15.07.04	首都機能誘致のための支出差止め請求事件	棄却		小曾戸廣、齊藤具秀、星野基、齊藤宏
40	15.08.07	第22回関東4県県議会議員野球大会の旅費支給に関する損害補填措置請求	棄却・一部返還		星野基、齊藤宏
41	15.12.18	栃木県道路公社に対する補助金に関する不当利得返還、差止め請求	棄却		小曾戸廣、齊藤具秀、星野基、齊藤宏
42	18.07.14	国発注の橋梁工事をめぐる談合事件に係る損害賠償請求	棄却		石坂真一、野田尚吾、黒本敏夫、佐藤 誠
43	14.11.21	平成13年度函館市議会政務調査費の各会派の違法不当支出に関し、総額12,355,550円につき返還請求	請求の一部について勧告	6会派で9件約7万円について違法不当な支出があった。それ以外は会派・議員の裁量を認めた	
44	15.06.17	函館市職員の特別昇給に関する違法支出総額41,675,241円について返還請求	棄却		

45	15.11.18	産廃処理会社「三和」による不法投棄事件で市の命令で撤去した産廃を一廃扱いで市の処分場に減額搬入(トン当たり 6,900 円を 3,200 円)。その差額分 3,700 万円について返還を求める請求	勧告	一廃として搬入したのは違法と認めた	
46	17.05.23	ガス化溶融炉の故障・トラブル多発による莫大な支出 3 億 3,000 万円について渡島廃棄物処理広域連合に対し損害賠償請求	棄却		
47	18.02.28	平成 16 年度函館市議会政務調査費の各会派の違法不当支出総額 237 万 6,000 円について返還請求	棄却		
48	14.12.19	平成 13 年度弘前市議会政務調査費について	却下	違法不当の事由に関する具体的証拠がなく、請求の特定を欠く	船水義貞 川崎勝巳 (工藤 力)
49	15.10.15	平成 15 年 4 月度弘前市議会政務調査費について	却下	違法不当の事由に関する具体的証拠がなく、請求の特定を欠く	船水義貞 川崎勝巳 (工藤 力)
50	16.06.	破綻した第 3 セクター所有地を市が購入・活用することに関連する事業計画作成コンサルタント料支出	却下	違法不当の事由に関する具体的証拠がなく、請求の特定を欠く	船水義貞 川崎勝巳 (工藤 力)
51	17.08.01	上記の土地購入費用残金の支払い差し止め	却下	違法不当の事由に関する具体的証拠がなく、請求の特定を欠く	船水義貞 川崎勝巳 (工藤 力)
52	17.04.28	平成 15 年度(4 月分を除く)弘前市議会政務調査費について	却下	違法不当の事由に関する具体的証拠がなく、請求の特定を欠く	船水義貞 川崎勝巳 (工藤 力)
53	17.08.11	平成 16 年度弘前市議会政務調査費について	却下	違法不当の事由に関する具体的証拠がなく、請求の特定を欠く	船水義貞 川崎勝巳 (工藤 力)
54	18.09.21	通常除雪業務委託談合について	棄却	証拠に基づかない主観的見解	山形一郎 鳴海溜喜子 佐藤克晴
55	14.06.20	築川ダム建設負担金(水道)返還及び差し止め請求(第 1 次対盛岡市長分)	棄却	負担金(出資金)に違法・不当性は認められない	本宮秀孝、高木智徳、村井欽司、土川誠子
56	14.06.20	築川ダム建設負担金(水道)返還及び差し止め請求(第 2 次対盛岡市水道事業者分)	棄却	負担金に違法・不当性は認められない	本宮秀孝、高木智徳、村井欽司、土川誠子
57	16.06.17	築川ダム建設負担金(水道)返還請求(平成 15 年度支出分)	棄却	本件請求の公金(負担金、出資金)の支出に違法又は不当は認められない	刈屋秀俊、吉田眞、村井欽司、川村幸子

58		18.09.14	盛岡市ごみ焼却施設談合に係る損害賠償請求権の行使を求める	勧告	談合による損害について、損害賠償を請求する権利を有しており、かつ審判審決の確定を持ち、損害賠償請求権を行使しないことについては、正当な理由があるとは認められない	刈屋秀俊、八重樫康雄、下館幸男、川村幸子
59	山形市	17.02.25	山形市まちづくり情報センターを舞台とした子ども向け学習会事業委託料の違法・不当支出分の返還を求める	棄却		
60		17.02.25	山形市まちづくり情報センターのホームページ更新作業の委託料の違法・不当支出分の返還を求める	棄却		
61	米沢市	15.10.22	米沢市立病院の東北大医学部に対する寄附金が違法支出たとしてその返還を求める	勧告	市立病院の寄付は国に対するものであり違法	
62	仙台市	13.05.29	平成12年度医学研究費(健康福祉局)は給与条列主義に反し違法	棄却	補助金であり違法・不当性なし	坪山繁、黒沢繁、大泉鉄之助、岩崎武宏
63		13.05.29	平成12年度医学研究費(市立病院)は給与条列主義に反し違法	棄却	補助金であり違法・不当性なし	坪山繁、黒沢繁、大泉鉄之助、岩崎武宏
64		13.06.29	航空写真測量談合による損害額の補てんを求める	市長への勧告	審決確定で損害あり	坪山繁、黒沢繁、大泉鉄之助、岩崎武宏
65		13.07.31	平成13年度行政調査費の違法・不当支出分の返還を求める	却下	違法・不当についての個別・具体的摘示なし	坪山繁、黒沢繁
66	仙台市	14.01.30	国有林野測量談合による損害額の補てんを求める	市長への勧告	審決確定で損害あり	坪山繁、黒沢繁、大泉鉄之助、岩崎武宏
67		14.04.23	平成12年度医学研究費(健康福祉局)の不正取得分の返還を求める	却下	請求期間徒過	坪山繁、黒沢繁、大泉鉄之助、岩崎武宏
68		14.04.23	平成12年度医学研究費(市立病院)の不正取得分の返還を求める	却下	請求期間徒過	坪山繁、黒沢繁、大泉鉄之助、岩崎武宏
69		14.09.06	自民党・市民会議佐々木両道議員の平成13年度政務調査費不正支出分の返還を求める	棄却	23件中21件は返還済み、2件は請求の特定を欠く	坪山繁、黒沢繁、岩崎武宏
70	仙台市	14.11.14	水の森用地(官遊地)の借入金利息分の損害賠償請求を求める	棄却	裁量権の濫用・逸脱はなかった	黒沢繁、大泉鉄之助、岩崎武宏
71		15.01.14	平成13年度、14年度(4月～11月)政務調査費の違法・不当支出分の返還を求める	棄却	違法・不当とは認められない	坪山繁、黒沢繁
72		15.01.27	地下鉄東西線事業への公金の支出差止めを求める	棄却	違法・不当に直接結びつく重大かつ明白な瑕疵はない	坪山繁、黒沢繁、大泉鉄之助、岩崎武宏

73	15.08.25	平成15年4月分政務調査費の違法・不当支出分の返還を求める	却下	違法・不当について特定に欠ける	加藤健次、黒沢繁
74	16.05.20	東北文化学園大学に支出した補助金相当額の返還を求める	棄却	市長はすでに補助金の返還を命じている	加藤健次、黒沢繁、笠原哲、八島幸三
75	16.07.16	東北文化学園大学元理事長らに対して損害の補てんを求める	却下	学園大の内部事項は監査請求の対象でない	加藤健次、黒沢繁、笠原哲、八島幸三
76	17.02.24	東北文化学園大学の理事、監事、職員らに損害の補てんを求める	却下	学園大の内部事項は監査請求の対象でない	加藤健次、黒沢繁、笠原哲、八島幸三
77	18.07.12	地下鉄南北線へ一般会計から違法支出された補助金の返還を求める	棄却	地公企法第17条の3に基づく適法な支出である	加藤健次、福島学、佐々木両道、加藤栄一
78	13.09.11	平一丁目再開発事業で建設予定の建物のフロアの買い取り価格に対して不当に高い分の支出差し止め請求	棄却		高野陽一、平山高四郎、猪狩勝省、富岡幸廣
79	14.06.21	非常にお粗末な包括外部監査報告書に対して支払った費用の全額返還を求めて	棄却		高野陽一、中野文雄、猪狩勝省、富岡幸廣
80	16.04.13	いわき市立常磐病院が東北大学医学部および県立医科大学に対して違法な寄付をした事で損害を補填させるように	棄却		高野陽一、中野文雄、佐久間均、中野次男
81	16.04.28	私立総合磐城共立病院が東北大学医学部に対して支出した10万円の損害を補填するように	棄却		高野陽一、中野文雄、佐久間均、中野次男
82	16.05.21	いわき市立常磐病院が財団法人福島医学振興会に対して支出した10万円の損害を補填するように	棄却		高野陽一、中野文雄、佐久間均、中野次男
83	17.05.27	いわき市水道局が国会議員や県会議員の祝賀広告に名を連ねることの違法性に対して損害を補填するように	棄却		高野陽一、中野文雄、大間守光、磯上佐太彦
84	14.12.24	平成13年度政務調査費	却下	当該行為を個別、具体的に特定していないし、具体的理由が示されていない	
85	13.12.13	足利銀行250億円の増資にかかる1億円引き受け差止め請求事件	棄却		木嶋利久、川村寿文、福田浩二、中山慶恵子
86	16.09.10	湯西川ダム建設事業にかかる建設・事業経費等負担金の支出差止め請求事件	棄却		須田章市、川村寿文、今井昭男、浅川信明